

# オディリア通信 あいあい

冬号(No.84)

R4年2月10日

社会福祉法人 聖オディリアホーム乳児院  
〒165-0031 東京都中野区上鷲宮 5-28-28  
TEL (03)5971-8071 FAX (03)5971-8073

Eメール [odilia@guitar.ocn.ne.jp](mailto:odilia@guitar.ocn.ne.jp)

ホームページ <http://odilia.jp>

基本理念 「愛をもって、愛を育てる」

明けましておめでとうございませぬ。  
今年も新型コロナウイルスの感染防止  
対策をとりながらの、新年のスタートとな  
りました。

感染予防のため、部屋ごとに過ごすこと  
が一層多くなりました。広い遊戯室も時間  
で区切って部屋単位で遊びます。広々使え  
ることで、ままごとをしたり、大きなマッ  
トやブロックを使って遊びが自由に広が  
ることもあります。制約があっても、子ど  
もと職員が一緒に楽しむことを忘れず  
日々の生活を送っています。

令和3年度は11月3日と23日に、オデ  
ィリア会を実施しました。出席してくださ  
った方々には細かい決め事の中ご協力い  
ただき、どうもありがとうございました。  
この会は子どもたちが退所した後も、保  
護者や里親、児童養護施設の職員の方々と  
子どもの成長をともに喜び、その子の育っ  
てきた場所のひとつとしてずっと成長を  
見守りたいという、職員の願いを具体的に  
したものです。退所した子どもたちが来院  
するきっかけになってほしい、懐かしく振  
り返る機会になってもらえたらいいなと  
思っています。

施設長 鎌倉 道子

	月	月	月
身長	cm	cm	cm
体重	g	g	g





「遊ぶ」ってどんな意味があるの？

私たちが普段何気なく使うことばのひとつに「遊ぶ(あそぶ)」があります。次の休みは何をして遊ぶのか、もっと遊び時間が欲しい、遊んではかりじゃだめだよ、など色々な使われ方をする「遊ぶ」は、今回は「遊ぶ」について考えてみたいと思います。

＜辞書を引いてみる＞「遊ぶ」とは

- ① スポーツ・趣味など好きなことをして楽しむ。
- ② 何もしないまままで時間を過ごす。
- ③ 見学や勉強のために他の土地へ行く。
- ④ 労力・機械・土地などが有効に使われないうまみになつてくる。
- ⑤ 詩学や管弦をたしなむ。

というように、とてもたくさん意味を持っていることばです。楽しみとしての遊びや学びとしての遊びもあれば、よくない状態を表す場合もあるようです。身近なことですが、多義的な意味を持っていることばね。

わび、ちびまわって「遊ぶ」とは一体

どのような体験なのでしょう。

イギリスの小児科医のウィニコットは遊ぶことについて「遊びこそが普遍的なものであり、健康に属するものである。すなわち、遊ぶことは成長を促進し、ゆえに健康を促進する。遊ぶことは集団の関係性のなかへと導く」と述べています。

言い換えれば、子どもは遊ぶことで外界と接触して成長していくし、人との関わり方を身に付けていくのです。お気に入りの車をたくさん並べたりダンゴムシを探したりすることにも、大きな意味があるので



では、子どもが心置きなく遊びを楽しむために、大人はどうしたらよいでしょうか。その子が遊びたいおもちゃを準備する、戸外に連れていく、危ないものを取り除く、怪我をしないように見守る、子ども同士のトラブルが起きたら間に入る、子どもの「見てー!」という言葉に応答して微笑み返す・・・様々なことが考えられます。このように、ある程度の枠組みや道具を用意してあげるの、大人の役目だと思います。ただし「〇〇を身に着かせたいから、今日はこの遊びをさせなましょー!」と大

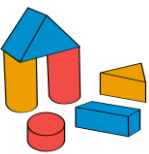
人が思ってしまうと、遊びの幅を狭め、大切な要素がかえって失われてしまうかもしれません。

その子が好きな遊びであっても、「それで遊びなさい」と他の人から強制されたり、「よく遊んだね、はいおやつ」と褒美をもらえたりすると、その遊びを嫌いになってしまう、という研究結果があります(アメリカのリチャード・ファバスらによる研究です)。「このように、遊ぶときには「自分でやりたいと思う」ことが大事なのです。

遊びにおいて一番大切なのは、安心してできる枠組みのなかで、子ども自身が自分で決めて自分でやってみる、という体験なのかもしれません。そのなかで、大いに遊べるのが子ども成長につながるのです。

またウィニコットは、子どもだけでなく大人にとっても遊びが大切だと述べています。世間の状況を見ると、大々的に遊ぶのはまだ難しいかもしれませんが、それでも何気ない日常のなかで、大人も遊ぶ時間を心から楽しめることが、私たちのこころの健康にも役立つのだと思われれます。

(心理士 戸田)



## クリスマス

十二月は待ちに待ったクリスマス。玄関や廊下に大きなクリスマスツリーが飾られると子どもたちも興味津々。飾りに触れながら「ツリー」と言って大はしゃぎしていました。

そしていよいよクリスマス当日。サンタさんが各部屋を回りながらプレゼントを届けます。中には見慣れないサンタさんの姿に泣き出してしまつ児も。そんな中、緊張しながらも自分でサンタさんのもとへ歩き、プレゼントを受け取っている児もいました。プレゼントを貰い終わり、早速そのプレゼントで遊びます。新しい玩具に夢中の子どもたち。お友達の玩具も気になるようで、仲良く玩具を交換しながら楽しく遊んでいます。

昼食はクリスマスメニューのバイキング。好きな食べ物をたくさんおかわりしてお腹いっぱいクリスマスになりました。

(保育士 梅村)



## お正月

クリスマスが終わるとあっという間に年越しの雰囲気になります。子どもたちも指スタンプや足型で来年の干支の「寅」を作ります。

壁面に飾られているのを見ると、「アライさんいるね」と言ってお困気を楽しんでいます。居室に鏡餅が飾られると、馴染みのあるみかんを見つけて嬉しそうに指差す児もいました。

元旦、職員に「あけましておめでとございます」と挨拶をされる「おめでとございます」と真似をして挨拶する児もいます。お昼には豪華なおせち料理を食べます。初めてのおせちに最初は戸惑っていた児も、一口食べると美味しいことに気が付き沢山お替りをしていました。今年の一年が素敵な年になりますように！

(保育士 島田)



## わらべ歌・散髪ポランティア

現在、感染症予防をしながら幾つかの団体や個人の方に活動してもらっています。今回はその中の二つの様子を紹介します。

一つ目は隔週の水曜日、わらべ歌に長年携わっている先生にきてもらい、色々なわらべ歌や手遊びなどを紹介してもらっています。最初は緊張している児も、歌が始まると少しずつ前に出て一緒にリズムをとったり歌ったりして、楽しむ姿が見られています。

二つ目は散髪ポランティアです。昨年は夏と秋に散髪をしてもらいました。散髪中は保育者に抱っこされていても不安で泣いてしまつ児もいましたが、髪を切ってもらいさっぱりとした姿を褒められると、照れながら笑顔を見せていました。最後は散髪ポランティアさんとハイタッチをして嬉しそうに手を振っている児もいました。

(保育士 菊地)





## ナースの一言アドバイス

### 冬のスキンケア

冬は空気が乾燥し、肌がかさかさとして荒れてかゆみが出る場合があります。外出から戻った時やお風呂から上がった後には保湿ケアを心がけていくようにしましょう。

### ☆なぜ子ども肌は荒れやすいのか☆

子どもは肌のバリア機能が未発達です。肌が乾燥するとそのバリア機能がどんどん失われるため、荒れていきます。肌を保護するバリアがなくなると、乾燥肌が進み、あかぎれや発疹など様々な皮膚トラブルが起こりやすくなります。

### ☆スキンケアの基本は、清潔と保湿☆

清潔と保湿が健康な皮膚を作る基本です。外遊びや手洗いの後に保湿クリームを塗るなど、日常的なケアを心がけましょう。また、冬でも半袖で過ごす子どもたちもいますが、冬に肌を出していると肌の状態が悪くなる場合があります。乾燥肌が気になる場合は、長袖・長ズボンを着用したほうがよいでしょう。



### ☆あかぎれになったら☆

皮膚が極度に乾燥すると、外からの刺激を受けやすくなり、肌割れや炎症を起しあかぎれになります。基本的なケアはワセリンなど油分が入った保湿剤を塗り、血行を良くすることです。しかし、切れた部分から細菌感染を起してジクジクしてしまうことがあるため、その場合は皮膚科を受診しましょう。抗生物質やステロイド剤で治療することもあります。

### ☆気を付けよう！しもやけ☆

しもやけは、皮膚が温度差に耐えられなくなり、血行が悪くなることで起こります。手足を急な温度変化にさらさないように気を付けましょう。



- ①フーリングやタイルなどの冷たい床の上では、靴下や室内履きを履く。
- ②靴を履く時は、必ず靴下を履く。
- ③外から帰って手足を洗う場合は、ぬるいお湯で洗う。

乾燥する季節は日々のケアを心がけ、デリケートな肌を守りましょう。

(看護師 萩野)

## 今後の行事

- 3月 ひなまつり
- 4月 イースター
- 5月 子どもの日

## お知らせ

聖オディリアホーム乳児院のホームページがあります。合わせてご覧下さい。

<http://odilia.jp>

## ☆編集 後記☆

寒さの厳しい日々が続いています。今年はずいぶん早くに都心にも雪が降り、初めての雪遊びを楽しんでいます。まだまだ感染症に気が抜けない日々が続きますが、しっかりと予防を行い元気に過ごしていきたいと思えます。

(保育士 島田)

